

光市医師会報

昭和57年 5月発行

No. 116



島田川川口の鳥（トウネン）

光 市 医 師 会

医師会月間行事

◎定例理事会

4月6日(火) 7・30 PM

光市医師会館

○報告事項

1. 学術研修会開催の件
講師、場所設営、準備等について
2. 臨時理事会開催について
研修会終了後、理事会とする件

○協議事項

1. 定時総会の立案計画
 - イ. 設営 竹中、近藤先生担当
 - ロ. 議題の決定 議長に説明のこと
 - ハ. 案内状の作制発送処理、伊藤先生担当
2. 事業報告について
会員の移動
森先生 4月1日付で退会予定
各項目別に原案を検討修正
3. 昭和56年度決算報告について
内容説明 竹中先生
退職金引当金についての討議
4. 事業計画案について
各項目別に検討
光市三師会参加の件について(今年
は薬剤師会担当)参加の是非、並
びに会費負担の是非
健保組合との懇談会の計画と予算
手当
産業保健医研修会 9月に予定
体育大会の再検討
5. 昭和57年度予算案

各項目の検討討議

広域集配助成金の問題 58年度
については不明の由

6. 渉外費と慶弔費の分類について
7. 休日在宅医助成金の配分について
8. 事務職員の雇用契約書の作製につい
て
9. 事務職員の就業規則並びに健康保険
等の準備について

◎学術研修会

4月13日(火) 7・00 PM

光市医師会館

1. 学術映画 (30分)
2. 講演
演題 呼吸器疾患の診断と治療
(レントゲンを中心として)
講師 山口大学放射線科教室講師 橋本先生
後援 田辺製薬

◎臨時理事会

4月13日(火) 9・00 PM

光市医師会館

○協議事項

1. 事業計画案の検討
 - イ. 基本方針 アンケートの意見尊重
 - ロ. 保険診療の研修(学問のみならず)
 - ハ. 福祉関係の行事 体育大会と永年
勤続表彰のあり方について
 - ニ. 広報関係
 - ホ. 学術関係
 - ヘ. 労働保険組合の継続について
 - ト. 納税組合の継続について
2. 昭和57年度予算案説明
各項目ごとに説明、検討

3. 事務職員の給与の決定と時間外勤務の規定について
必要と認められるもののみ許可とする。

◎昭和57年度光市医師会定時総会

4月24日 (土) 3・00 PM

室積 金久別館

開会に先だち、亀田夫人より光市医師会各位に対して、御挨拶とお礼のお言葉をいただく。

出席者26名、委任状提出者11名、計37名にて総会成立。

大野会長の挨拶、続いて田尻議長総会開催の挨拶の後、議事録署名委員に守友雅彦氏と藤原邦彦氏を指名する。

議事の前に故亀田先生のお黙禱を行う。

○議案審議

第1号議案 昭和56年度事業報告(承認事項) 大野会長より報告

第2号議案 昭和56年度会計報告(承認事項) 竹中副会長より才
入才出決算書の報告あり。約
393万余残高のあることを
報告する。

田村勝司監事より会計監査し、問題のないことを報告する。

第3号議案 昭和56年納税組合収支報告(報告事項) 渡辺貞雄会員より収支報告あり。

田尻議長より、第1、第2、第3号議案について質疑を求めたが、質疑異議なく全員賛成の拍手にて原案通り承認。

第4号議案 昭和57年度事業計画案(決議事項)の説明 後記

第5号議案 昭和57年度収支予算案(決議事項) 竹中副会長より
具体的内容趣旨説明あり。

質疑異議なく全員賛成の拍手にて原案通り承認された。

第6号議案 総会決議権限の委任について(決議事項) 大野会長より、会費の増徴を伴わない予算の補正は理事会の決議に委任する」と提案説明し、全員賛成で決議承認された。

終了 午後4時50分

続いて午後5時より懇親会を開催、松岡市長他市側から、賀根教育長、菴永市民部長、高橋市民部長、山本環境衛生課長、田越消防長、と平野徳山保健所長、中野警察署長8人の来賓を招いて賑やかな宴会に続いて二次会と続き、無事、総会を終了した。

昭和57年度 光市医師会事業計画の基調

25年の長期に亘り、強力な指導力を発揮された武見会長の退任により、武見時代の終りを告げ、花岡新日本医師会会長が就任された。今後、日本医師会の動向については、医師会員は勿論、全国的にも深い関心をよせられていると考えられます。

昨年6月技術料尊重の方向として薬価基準の大幅な切下げによる医療保険の点数改正が行なわれましたが医師会員の満足すべき結果とはなっておりません。現在審議中の臨時行政調査会の医療費抑制を主目的とする答申、医療法改正の具体化的動向、目

下、審議中の老人保険法案また、総医療費の増加を医師の乱診、乱療によるとする短絡的世論の構成、出来高払い制度の見直し論等誠に医師をとりまく状況は多事多難と考えられます、これ等中央の動向は吾々末端の医師会に重大な影響をもたらすことゝなります。医師会を眺める世論も一段ときびしくなるものと思料します。

私達光市医師会は県医師会と緊密な連繫を保ち、社会法人光市医師会の学術団体としての社会的、学術的倫理感の昂揚につとめ地域医療の第一線を担う自負と使命感のもとに地域における住民と医師との信頼関係を強め尊敬される医師会として発展してゆきたいと考えます。

以下昭和57年度の光市医師会事業運営の基調について若干の抱負を述べさせていただきます。

1. 会内の民主的運営を基本として融和と団結、親睦をはかり、光市医師会の発展を期したいと思料します。

2. 学術の研 と保険診療

最近の診断技術、医療の進歩発達に驚くべき発展があり、新しい知識が日々導入されつゝあります、吾々医師会は医を以って業とする学術団体であります。医学、医術を通じて地域住民と深く結びつき、地域住民の疾病治療と健康増進に貢献することが公益法人医師会の任務と考えます、住民医療に対する要望は従来にも増して高まり医事紛争に発展の可能性の底流となり、批判となりうる事を吾々

は心にとめおくべきであります。

従って、吾々は常に学術の研鑽を怠らない事が是非共必要であり、この為、従来にも増して瀕回に講演会を開催し、また、抄読会症例発表会を開催致す所存であります。

尚、相互のプライマリケアーを中心とするセミナー等の研究会参加等については医師会よりの補助制度を計画致す所存であります。

保険診療につきましては前述しました通り昨年6月に改正されたわけではありますが、幾多の不満と矛盾を残し、大方の会員の不満をかって居りますが保険診療制度の枠を外れる事の制限をかせられております。然し、萎縮的診療におちいる事なく、学術的基盤に基づいて正々堂々と診療を行う為にも前述の学術研鑽と相まって保険診療についての検討を行う事も必要と存じます。尚、本年度は光市医師会主催で周南三市医師会、各健保組合との協議会を計画しております。

3. 地域医療

事業報告で述べました通り、昭和56年度におきましては、休日当番医制をはじめ各種健診、予防接種、学校保健等について多大の貢献をしておりますが、本年も例年通り計画性ある実践を通じ地域社会の保健衛生の向上に資し、成果をあげるよう努力する所存であります。

県医師会においては本年度より地域医療計画の新しい部門を設置されました。光市医師会においてもこの部門の担当理

事を定め県医師会との関連をもたせ検討する体制を定めました。

4. 産業保険、学校保健

県医師会においては中高年齢者の健康づくりシルバーヘルスプラン研修会を計画されておりますが、光地区においても事業場健康管理者と産業医との研修会を年一度行う予定であります。

学校保健については従来疎外されがちであった高等学校、学校保健について検討を進めたい所存であります。

5. 広 報

会報も既に115号に達し光市医師会の歴史を刻み、会員相互の意思疎通と情報伝達の使命を果たしてきておりますが今後、会報のあり方を再検討しますます充実したものに致したい所存であります。

6. 福 祉

(1) 例年実施しております永年勤続者表

彰、体育大会については本年度も実施したいと考えますが、そのあり方については充分検討しなければならないと考えております。

(2) 事務局の効率的運営を検討し、医師会納税組合については従前通りの発展を期待し、医師会労働保険事務組合についても能率良き事務処理のできるよう研究致す所存であります。

☆☆☆☆☆

医師会報の表紙と原稿をお願いします

・会報の表紙は、従来は趣味とか作品等になっていましたが、これからは、その上に会員のペットに拡大したいと思っております。

犬、小鳥、庭木なんでも表紙にしていきたいと考えていますので、お願い致しましたら辞退しないで、お力添えいただけますよう何とぞ宜しくお願い申し上げます。もし出来ましたら、一寸した小文でもいただけると更に幸せです。

病院群輪番制病院の来院患者診療科目別・住所別等調 (病院別)

昭和56年度

周南地域救急医療対策協議会

病院名	区分	当番日数	患 者 数							調 査 (人)		
			科 目 別 来 院 患 者 数							性 別		
			内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	耳鼻科	他科	計	男	女
徳山医師会病院		20	16		22					38	23	15
徳山中央病院		17	17	4	21	10	10		5	67	44	23
徳山記念病院		6	5		13					18	13	5
徳山病院		3			2					2	2	
南陽病院		7	13		13	8				34	18	16
東洋鋼鉄病院		2(4)	3							3	3	
下松記念病院		4(6)			30	2				32	16	16
光市立病院		7	23	18	27	23		1		92	58	34
計		66	77	22	128	43	10	1	5	286	177	109

区分 病院名	患者の住所別調(人)										
	関係市町村別患者数						他市町村患者数				
	徳山市	下松市	光市	新南陽市	熊毛町	鹿野町	大和町	周東町	玖珂町	県内	県外
徳山医師会病院	23	1	1	3	3	2		1		1	3
徳山中央病院	33	8	3	9	3	2		1	1	3	4
徳山記念病院	11	2	1	2						1	1
徳山病院	1			1							
南陽病院	13	2	4	13	1					1	
東洋鋼鋸病院	1	1								1	
下松記念病院	4	13	8	1	3	1		1		1	
光市立病院	8	5	60	2	5		4			3	5
計	94	32	77	31	15	5	4	3	1	11	13

あとがき

島田川河口の鳥は、いつも沢山いますし、四季春秋を通じて、いろんな鳥がいるのが楽しめますが、シギ科の鳥はいつでも容易に顔を見ることが出来ます。表紙のトウネンはハマシギについてよく観ることが出来まして、雀よりもすこし大きい位で、チュリッという声で鳴き、群をつくっていることが多いので群舞がきれいです。体が小さいので、その年うまれ当年のものという意味で名付けられたそうです。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社